

てっちゃん先生☆の
介護福祉士一発合格
『正月特訓講座』
〈第1日目〉

正月特訓講座の 3 つの目的

- ① 国試に高確率で出題される「**病気・障害**」「**事例長文問題**」と
ほぼ全受験生が苦手とする「**社会の理解**」の勉強法をマスターする！
- ② 一発合格の最強勉強法『**記銘・保持・想起**』をマスターする！
- ③ 正月期間にやって来るネガティブ**感情のケア**をマスターする！

※1日目「高齢者編」、2日目「障害者編」として勉強します。

※ある程度の知識は海馬に入っていることを前提に想起練習します！

125問の仕分け

- ▶ 1 軍 . . . **難問**。勉強の順番は後半 〈約**20**問〉
尊厳と自立/社会の理解/介護の基本/発達と老化(の一部)
- ▶ 2 軍 . . . **用語の意味**がわかれば解ける問題 〈約**60**問〉
認知症/障害/こころとからだ/発達と老化(の一部)
医療/人間関係とコミュ
- ▶ 3 軍 . . . **正しい現場経験**があれば解ける問題 〈約**40**問〉
コミュニケーション技術/生活支援技術/介護過程

てっちゃん先生☆式
「病気・障害」問題解法 4 ステップ

【Step 1】 どこが 各部位がどんな働きをするのか？

「こころとからだのしくみ」

【Step 2】 どうなると 壊れるのか？働かなくなるのか？

「発達と老化の理解」

【Step 3】 何が出て どういう症状が出るのか？

「障害の理解」 「認知症の理解」

【Step 4】 どうすればいい？ . . . 介護職(社会)ができるケアは何か？

「生活支援技術」 「コミュ技術」 「医療的ケア」 「社会の理解」

※ Step 1 ～ 4 までの全て問われるのが「総合問題」

事例問題の概要

- 事例問題とは、疾病や障害、不安な気持ち等を抱えた利用者に対して、介護福祉職としての適切な対応力、また適切な公的サービスが問われる。
- 文頭は「Aさん(70歳、男性、要介護3)は、〇〇病で…」で始まる。
- 病気、障害、認知症等の知識やコミュニケーション技術が**総合的**に問われるのでその場で**考える力**が必要。知識の暗記だけでは解けない！！
- 短時間で長文を読んで、状況把握、情報収集をしなければならないので、何度も読み直している時間はない！！

過去総合問題で問われた病気・障害 TOP10

- | | |
|---------------|------------------|
| ① 認知症 | ⑥ 統合失調症 |
| ② 脳血管疾患 | ⑦ 筋萎縮性側索硬化症(ALS) |
| ③ 脊髄損傷 | ⑧ 糖尿病 |
| ④ 脳性麻痺 | ⑨ 関節リウマチ |
| ⑤ 自閉症スペクトラム障害 | ⑩ 心不全 |

※ 4 事例のうち、65歳以上(高齢者) 2 名、65歳未満 2 名が定番

※ 高齢者は認知症が最多(アルツハイマー、レビー小体等)

※ 65歳未満は、成人、子ども(最年少7歳)、障害の種類も多岐に渡る

事例**長文**読解の**3**ステップ

【Step 1】 先に問題に目を通して、何が問われるかチェック

【Step 2】 事例文を以下の印を付けながら読む

●登場人物（**本人**とその**家族**）を□で囲む

●**病気**名・**障害**名・**利用サービス**(※)を○で囲む

●**重要情報**に_____を引く（本人の**想い**、本人の状態**変化**等）

(注) 「しかし」「ある日」「最近」のワードが出たら要注意！

【Step 3】 再び問題に戻って解く

※高齢者は介護保険サービス、障害者は障害者総合支援法のサービス

例題と一緒に解いてみよう！

その前に・・・

養護老人ホームと特別養護老人ホーム
「1軍レベル」

の違いを押さえておこう。

養護老人ホームと特別養護老人ホーム

- どちらも「**老人福祉法**」から生まれた（1963年）
- 当時はどちらも市町村判断の**措置**入所だった（養護は困窮者、特養は要介護者）
- 「**介護保険法**」（2000年）ができ、措置から**契約**に変わった。
- 介護保険法上の名称が異なるので要注意！
 - 養護老人ホーム→**特定施設入居者生活介護**
 - 特別養護老人ホーム→**介護老人福祉施設**（原則**要介護3以上**）
- 養護老人ホームは現在も措置入所がある（困窮者や被虐待者）

31回-総合問題 2

Gさん(84 歳, 女性)は, 8 年前に経済的な理由から養護老人ホームに入所した。Gさんは, 「自分のことは, 自分でやりたい」といつも話しており, 毎朝の体操が日課であった。施設のプログラムである健康体操にも他の利用者と楽しみながら毎週参加していた。

しかし, 最近では, 足がすくんだようになり, 始めの一步をうまく出せず, 歩行に不安を抱えるようになった。Gさんは, 物忘れなどの症状が以前からみられていたこと, また他の症状もみられるようになったことから, 医師の診察を受けたところ, レビー小体型認知症(dementia with Lewy bodies)と診断された。

Gさんは, 居室の前にあるトイレに行くとき, 転倒してけがをするのではないかと不安になっている。Gさんが入所している施設は, N県から介護保険サービス事業者の指定を受けている。この施設で生活が続けたいというGさんの意向を受けて, 本人を交えて施設職員と介護支援専門員(ケアマネジャー)が支援の内容を検討した。

31回-総合問題 2

Gさん(84 歳, 女性)は, 8 年前に経済的な理由から養護老人ホームに入所した。
Gさんは, 「自分のことは, 自分でやりたい」といつも話しており, 毎朝の体操が日課であった。施設のプログラムである健康体操にも他の利用者と楽しみながら毎週参加していた。

しかし, 最近は, 足がすくんだようになり, 始めの一步をうまく出せず, 歩行に不安を抱えるようになった。Gさんは, 物忘れなどの症状が以前からみられていたこと, また他の症状もみられるようになったことから, 医師の診察を受けたところ, レビー小体型認知症(dementia with Lewy bodies)と診断された。

Gさんは, 居室の前にあるトイレに行くとき, 転倒してけがをするのではないかと不安になっている。Gさんが入所している施設は, N県から介護保険サービス事業者の指定を受けている。この施設で生活を続けたいというGさんの意向を受けて, 本人を交えて施設職員と介護支援専門員(ケアマネジャー)が支援の内容を検討した。

問題 117

Gさんが診察を受けるきっかけとなった他の症状とは、発症した認知症 (dementia) の特徴的な症状の一つである。

他の症状に該当するものとして、最も適切なものを 1 つ選びなさい。

- 1 片麻痺
- 2 脱抑制
- 3 幻視
- 4 常同行動
- 5 感情失禁

問題 117

Gさんが診察を受けるきっかけとなった他の症状とは、発症した認知症 (dementia) の特徴的な症状の一つである。

他の症状に該当するものとして、最も適切なものを 1 つ選びなさい。

- 1 片麻痺
- 2 脱抑制
- ③ 幻視
- 4 常同行動
- 5 感情失禁

問題 118

Gさんの移動に関する支援として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 床にある目印をまたぐように声かけをする。
- 2 車いすで移動する。
- 3 居室にカーペットを敷く。
- 4 歩幅を小さくするように声かけをする。
- 5 四点杖の使用を勧める。

問題 118

Gさんの移動に関する支援として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- ① 床にある目印をまたぐように声かけをする。
- 2 車いすで移動する。
- 3 居室にカーペットを敷く。
- 4 歩幅を小さくするように声かけをする。
- 5 四点杖の使用を勧める。

問題 119

Gさんの意向を踏まえた介護保険サービスとして、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 看護小規模多機能型居宅介護
- 2 小規模多機能型居宅介護
- 3 短期入所療養介護
- 4 特定施設入居者生活介護
- 5 認知症対応型共同生活介護

問題 119

Gさんの意向を踏まえた介護保険サービスとして、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 看護小規模多機能型居宅介護
- 2 小規模多機能型居宅介護
- 3 短期入所療養介護
- ☒ 4 特定施設入居者生活介護
- 5 認知症対応型共同生活介護

自力で解いてみよう！

第34回「総合問題 1」

34回-総合問題 1

Cさん（83 歳，女性）は，一人暮らしで，近所に買い物に行く以外はテレビを見て過ごしている。近県に息子がいるが，仕事が忙しく，会いに来ることはあまりなかった。

ある日，息子が久しぶりに訪問すると，部屋の中がごみや衣類などで散らかっていた。病院を受診すると Cさんはアルツハイマー型認知症（dementia of the Alzheimer`s type）と診断され，要介護 1 と認定された。

Cさんは，時々，電気湯沸しポットの使い方がわからなくなって湯が出せなかったり，お茶を入れる順番がわからずに混乱する様子が見られた。

心配した息子は，介護保険サービスを利用することにした。後日，介護支援専門員（ケアマネジャー）が訪問し，介護保険サービスの利用について Cさんや息子と話し合った。週 2 回，訪問介護（ホームヘルプサービス）を利用することになり，介護支援専門員（ケアマネジャー）は，「自宅で，衛生的な生活ができる」をケアプランの長期目標とした。

34回-総合問題 1

Cさん（83歳，女性）は，一人暮らしで，近所に買い物に行く以外はテレビを見て過ごしている。近県に息子がいるが，仕事が忙しく，会いに来ることはあまりなかった。

ある日，息子が久しぶりに訪問すると，部屋の中がごみや衣類などで散らかっていた。病院を受診するとCさんはアルツハイマー型認知症（dementia of the Alzheimer`s type）と診断され，要介護 1と認定された。

Cさんは，時々，電気湯沸しポットの使い方がわからなくなって湯が出せなかったり，お茶を入れる順番がわからずに混乱する様子が見られた。

心配した息子は，介護保険サービスを利用することにした。後日，介護支援専門員（ケアマネジャー）が訪問し，介護保険サービスの利用についてCさんや息子と話し合った。週2回，訪問介護（ホームヘルプサービス）を利用することになり，介護支援専門員（ケアマネジャー）は，「自宅で，衛生的な生活ができる」をケアプランの長期目標とした。

問題 114

Cさんを担当する訪問介護員（ホームヘルパー）は、サービス提供責任者と共に訪問介護計画書を作成することになった。

次の記述の中で、短期目標として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 掃除機を利用して、1人で掃除をすることができるようになる。
- 2 電気湯沸しポットを使い、1人でお茶を入れることができるようになる。
- 3 Cさんの残存機能に着目して支援する。
- 4 週2回、息子にCさんの自宅を訪問してもらう。
- 5 訪問介護員（ホームヘルパー）と一緒に掃除をすることができるようになる。

問題 114

Cさんを担当する訪問介護員（ホームヘルパー）は、サービス提供責任者と共に訪問介護計画書を作成することになった。

次の記述の中で、短期目標として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 掃除機を利用して、1人で掃除をすることができるようになる。
- 2 電気湯沸しポットを使い、1人でお茶を入れることができるようになる。
- 3 Cさんの残存機能に着目して支援する。
- 4 週2回、息子にCさんの自宅を訪問してもらう。
- ⑤ 訪問介護員（ホームヘルパー）と一緒に掃除をすることができるようになる。

問題 115

Cさんは、たびたび息子に電気湯沸しポットが壊れていると訴えるようになった。

Cさんのこのような状態に該当するものとして、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 空間認知障害
- 2 視覚認知障害
- 3 遂行機能障害
- 4 失認
- 5 観念運動失行

問題 115

Cさんは、たびたび息子に電気湯沸しポットが壊れていると訴えるようになった。

Cさんのこのような状態に該当するものとして、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 空間認知障害
- 2 視覚認知障害
- ☒ 3 遂行機能障害
- 4 失認
- 5 観念運動失行

問題 116

Cさんの家に訪問介護員（ホームヘルパー）が通い始めて数か月が経過した頃、Cさんの息子から訪問介護員（ホームヘルパー）に以下の希望が挙げられた。

介護保険で対応可能な支援として、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 Cさんと息子が出かけている間に洗濯物を取り込む。
- 2 Cさんの処方薬を薬局で受け取る。
- 3 地域のお祭りにCさんと一緒に行く。
- 4 Cさんの部屋の壁紙を張り替える。
- 5 訪ねて来た親戚にお茶を入れる。

問題 116

Cさんの家に訪問介護員（ホームヘルパー）が通い始めて数か月が経過した頃、Cさんの息子から訪問介護員（ホームヘルパー）に以下の希望が挙げられた。

介護保険で対応可能な支援として、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 Cさんと息子が出かけている間に洗濯物を取り込む。
- ☒ 2 Cさんの処方薬を薬局で受け取る。
- 3 地域のお祭りにCさんと一緒に行く。
- 4 Cさんの部屋の壁紙を張り替える。
- 5 訪ねて来た親戚にお茶を入れる。